

令和8年度 大学院工学研究科(博士前期課程)入学者選抜要項

※『電気電子工学専攻』については、設置構想中であり、専攻名は仮称です。以下の内容は今後変更になる場合がありますので、必ず令和7年5月以降に公表予定の「学生募集要項」を確認してください。

1 入試等日程

区分	夏入試		冬入試		
	機械・電気・環境・生医		環境・生医	機械・電気・環境・生医	
	一般選抜 (筆記試験等免除者)	一般選抜 外国人留学生特別選抜 社会人特別選抜	一般選抜	外国人留学生 特別選抜	社会人特別選抜
① 願書受付期間	5/30(金)～6/4(水)	5/30(金)～7/4(金)	10/20(月)～11/4(火)	12/15(月)～1/6(火)	
出願資格審査申請期限	—	5/21(水)	10/3(金)	11/14(金)	
② 面接試験受験資格通知	6/13(金)	—	—	—	
③ 選抜期日	6/30(月)	8/19(火)	12/1(月)	1/26(月)	
④ 合格発表 『筆記試験免除通知』	『7/7(月)』	8/29(金)	12/15(月)	2/9(月)	
⑤ 入学手続期間	R8/3/16(月)～18(水)				

※ 上記選抜の状況により追加募集を行うことがある。

※ 年末年始（令和7.12.29（月）～令和8.1.2（金））、土曜、日曜及び祝日は受付を行わない。

2 入学者選抜要項等

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜																																
募集人員	<p><夏入試></p> <table> <tr> <td>機械システム工学専攻</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学専攻</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>環境・社会基盤工学専攻</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>生物・医薬品工学専攻</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74名</td> </tr> </table> <p><冬入試></p> <table> <tr> <td>環境・社会基盤工学専攻</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>生物・医薬品工学専攻</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10名</td> </tr> </table>	機械システム工学専攻	24名	電気電子工学専攻	15名	環境・社会基盤工学専攻	11名	生物・医薬品工学専攻	24名	計	74名	環境・社会基盤工学専攻	4名	生物・医薬品工学専攻	6名	計	10名	<table> <tr> <td>機械システム工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>環境・社会基盤工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>生物・医薬品工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> </table>	機械システム工学専攻	若干名	電気電子工学専攻	若干名	環境・社会基盤工学専攻	若干名	生物・医薬品工学専攻	若干名	<table> <tr> <td>機械システム工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>環境・社会基盤工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>生物・医薬品工学専攻</td> <td>若干名</td> </tr> </table>	機械システム工学専攻	若干名	電気電子工学専攻	若干名	環境・社会基盤工学専攻	若干名	生物・医薬品工学専攻	若干名
機械システム工学専攻	24名																																		
電気電子工学専攻	15名																																		
環境・社会基盤工学専攻	11名																																		
生物・医薬品工学専攻	24名																																		
計	74名																																		
環境・社会基盤工学専攻	4名																																		
生物・医薬品工学専攻	6名																																		
計	10名																																		
機械システム工学専攻	若干名																																		
電気電子工学専攻	若干名																																		
環境・社会基盤工学専攻	若干名																																		
生物・医薬品工学専攻	若干名																																		
機械システム工学専攻	若干名																																		
電気電子工学専攻	若干名																																		
環境・社会基盤工学専攻	若干名																																		
生物・医薬品工学専攻	若干名																																		
出願資格	<p>次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 	<p>日本の国籍を有しないで、在留資格が『留学』又は入学時に『留学』に変更できる見込みのある者で、次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 	<p>教育研究機関、官公庁、企業等に在職し、所属長（公務員は任命権者）の受験許可を得た者で、かつ次のいずれかに該当し、入学時現在で2年以上の専門的な実務経験（通算可）を有する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学を卒業した者 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 																																

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
出願資格	<p>5 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること (当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格4の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者</p> <p>6 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>7 文部科学大臣の指定した者 (昭和28年文部省告示第5号)</p> <p>8 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>9 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>10 令和8年3月31日で大学に3年以上在学する者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めたもの</p> <p>11 その他に、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者で、令和8年3月31日において22歳に達しているもの</p> <p>※ 出願資格5により出願を希望する者は、出願締切日1ヶ月前までに出願手続先に問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格8、10又は11により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。</p> <p>《面接試験選抜出願の対象となる者》 次の全てに該当する者</p> <p>1 大学を令和8年3月に卒業見込みの者又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を令和8年3月31日までに授与される見込みの者</p>	<p>5 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格4の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者</p> <p>6 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>7 文部科学大臣の指定した者 (昭和28年文部省告示第5号)</p> <p>8 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>9 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者</p> <p>10 令和8年3月31日で大学に3年以上在学する者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めたもの</p> <p>11 その他に、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者で、令和8年3月31日において22歳に達しているもの</p> <p>※ 出願を希望する者は、出願に先立ち富山県立大学事務局教務課学生募集係へ問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格5により出願を希望する者は、出願締切日1ヶ月前までに出願手続先に問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格8又は10により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。</p> <p>※ 出願資格5により出願を希望する者は、出願締切日1ヶ月前までに出願手続先に問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格8、10又は11により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。</p>	<p>5 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格4の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>6 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>7 文部科学大臣の指定した者 (昭和28年文部省告示第5号)</p> <p>8 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>9 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者</p> <p>10 その他に、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者で、令和8年3月31日において22歳に達しているもの</p> <p>※ 出願を希望する者は、出願に先立ち富山県立大学事務局教務課学生募集係へ問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格5により出願を希望する者は、出願締切日1ヶ月前までに出願手続先に問い合わせること。</p> <p>※ 出願資格8又は10により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。</p>

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
出願資格	<p>2 学業成績及び人物ともに優れた者 本学大学院のアドミッションポリシーで求める専門分野を学修しており、かつ所属学科内での成績順位が上位1/2以内である者を対象として審査する。 専門分野の学修内容並びに所属学科内での成績順位については、成績証明書により判定する。</p> <p>3 合格した場合、入学を確約できる者</p> <p>※ 機械システム工学専攻、電気電子工学専攻及び環境・社会基盤工学専攻にあっては、外国において学校教育における16年の課程を当該年度の3月までに修了見込みの者で、本学との『単位互換に基づく学生交流に関する協定書』に基づく特別聴講学生として入学を許可され、所定の単位を取得見込みの者についても、1に該当する者として取り扱う。</p>		

機械システム工学専攻

【夏入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>面接試験又は学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。））の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p>○面接試験選抜 <6月30日(月)> 13:30～</p> <p>○筆記試験及び口述試験による選抜 <8月19日(火)></p> <p>① 応用数学 10:00～11:30 (90分) 《出題範囲》 「線形代数」「微積分」「常微分方程式」</p> <p>② 口述試験 13:00～ 専門基礎（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）に関連した内容。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC／TOEFL スコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。））の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>① 応用数学 10:00～11:30 (90分) 《出題範囲》 「線形代数」「微積分」「常微分方程式」</p> <p>② 口述試験 13:00～ 専門基礎（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）に関連した内容。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC／TOEFL スコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>面接（口述試験を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)> 面接（口述試験を含む。）13:00～</p>

※ 一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「筆記試験、口述試験及び事前提出のTOEIC／TOEFL スコア」を免除する。

【冬入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法		<p>学力検査（口述試験）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)> 口述試験 9:00～ 応用数学（線形代数、微積分、常微分方程式）及び専門基礎（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）に関連した内容。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC／TOEFL スコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>面接（口述試験を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><1月26日(月)> 面接（口述試験を含む。）13:15～</p>

※ TOEIC／TOEFL について（夏入試・冬入試共通）

本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R（公開テスト）又はTOEFL（iBT）の成績を証明する書類等を、下記のいずれかの方法で提出すること。

【TOEIC L&R（公開テスト）の場合】

- ・TOEIC申込サイトからスコアを提出する。（申請コード00040702）
- ・「Official Score Certificate（公式認定証）」の原本を提出する。
- ・印刷したデジタル公式認定証を提出する。

【TOEFL（iBT）の場合】

- ・「Test Taker Score Report（スコアレポート）」の原本を提出する。
なお、TOEIC L&R（公開テスト）及びTOEFL（iBT）は実施日及び実施会場が限られているため、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。

電気電子工学専攻

【夏入試】

※設置構想中であり、専攻名は仮称です。以下の内容は今後変更になる場合がありますので、必ず令和7年5月以降に公表予定の「学生募集要項」を確認してください。

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>面接試験又は学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。））の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p>○面接試験選抜 <6月30日(月)> 13:30～</p> <p>○筆記試験及び口述試験による選抜 <8月19日(火)></p> <p>① 応用数学 10:00～11:30 (90分) 《出題範囲》 「線形代数」「微積分」「常微分方程式」</p> <p>② 口述試験 13:00～ 専門基礎（電磁気学、電気回路、電子物性、論理回路、プログラミング）に関連した内容を出題。これらの分野から3分野を選択して解答。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。））の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>① 応用数学 10:00～11:30 (90分) 《出題範囲》 「線形代数」「微積分」「常微分方程式」</p> <p>② 口述試験 13:00～ 専門基礎（電磁気学、電気回路、電子物性、論理回路、プログラミング）に関連した内容を出題。これらの分野から3分野を選択して解答。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>面接（口述試験を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)> 面接（口述試験を含む。）13:00～</p>

※一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「筆記試験、口述試験及び事前提出のTOEIC/TOEFLスコア」を免除する。

【冬入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法		<p>学力検査（口述試験）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)></p> <p>口述試験 9:00～ 応用数学（線形代数、微積分、常微分方程式）、専門基礎（電磁気学、電気回路、電子物性、論理回路、プログラミング）に関連した内容を出題。これらの分野から3分野を選択して解答。面接を含む。</p> <p>※ 外国語（英語）は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>面接（口述試験を含む。）の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><1月26日(月)> 面接（口述試験を含む。）13:15～</p>

※ TOEIC/TOEFLについて（夏入試・冬入試共通）

本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R（公開テスト）又はTOEFL（iBT）の成績を証明する書類等を、下記のいずれかの方法で提出すること。

【TOEIC L&R（公開テスト）の場合】

- ・TOEIC申込サイトからスコアを提出する。（申請コード00040702）
- ・「Official Score Certificate（公式認定証）」の原本を提出する。
- ・印刷したデジタル公式認定証を提出する。

【TOEFL（iBT）の場合】

- ・「Test Taker Score Report（スコアレポート）」の原本を提出する。

なお、TOEIC L&R（公開テスト）及びTOEFL（iBT）は実施日及び実施会場が限られているため、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。

環境・社会基盤工学専攻

【夏入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>面接試験又は学力検査(筆記試験)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p>○面接試験選抜<6月30日(月)> 13:30~</p> <p>○筆記試験及び面接による選抜 <8月19日(火)></p> <p>① 専門基礎 10:00~11:30 (90分) 《出題範囲》 「環境工学」「社会基盤工学」から2題ずつ出題され、計4題のうち2題を選択し、解答する。選択の組み合わせは自由とする。 (キーワード) 「環境工学」: 環境水質工学、資源循環工学、環境化学工学、環境物理化学 「社会基盤工学」: 構造力学、水理学、土質力学</p> <p>② 面接 13:00~ 環境マネジメント(持続可能社会構築)に関連した口述試験を含む。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(筆記試験)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>① 専門基礎 10:00~11:30 (90分) 《出題範囲》 「環境工学」「社会基盤工学」から2題ずつ出題され、計4題のうち2題を選択し、解答する。選択の組み合わせは自由とする。 (キーワード) 「環境工学」: 環境水質工学、資源循環工学、環境化学工学、環境物理化学 「社会基盤工学」: 構造力学、水理学、土質力学</p> <p>② 面接 13:00~ 環境マネジメント(持続可能社会構築)に関連した口述試験を含む。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>面接(口述試験を含む。) 13:00~ 主に提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専攻分野に関連した質問を行う。</p>

※ 一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「筆記試験、面接及び事前提出のTOEIC/TOEFLスコア」を免除する。

【冬入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>学力検査(事前提出の小論文、口述試験)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)> 面接(口述試験を含む) 9:00~ 提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専門分野に関連した質問を行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文、口述試験)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)> 面接(口述試験を含む) 9:00~ 提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専門分野に関連した質問を行う。</p> <p>※ 口述試験及び面接は英語で実施する。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><1月26日(月)></p> <p>面接(口述試験を含む。) 13:15~ 主に提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専攻分野に関連した質問を行う。</p>

※ TOEIC/TOEFLについて(夏入試・冬入試共通)

本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R(公開テスト)又はTOEFL(iBT)の成績を証明する書類等を、下記のいずれかの方法で提出すること。

【TOEIC L&R(公開テスト)の場合】

- ・TOEIC申込サイトからスコアを提出する。(申請コード00040702)
- ・「Official Score Certificate(公式認定証)」の原本を提出する。
- ・印刷したデジタル公式認定証を提出する。

【TOEFL(iBT)の場合】

- ・「Test Taker Score Report(スコアレポート)」の原本を提出する。

なお、TOEIC L&R(公開テスト)及びTOEFL(iBT)は実施日及び実施会場が限られているため、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。

生物・医薬品工学専攻

【夏入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>面接試験又は学力検査(筆記試験)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p>○面接試験選抜<6月30日(月)> 13:30~</p> <p>○筆記試験及び面接による選抜 <8月19日(火)></p> <p>① 専門基礎 10:00~11:30 (90分) 《出題範囲》 「有機化学」「生化学」「分子生物学」から以下のキーワードに関する基礎的かつ総合的な問題を出題する。 (キーワード) 「有機化学(命名、官能基、異性体、酸・塩基、求核・求電子反応、脱離反応、酸化還元)」「生化学(細胞、生体分子の構造と機能、酵素、補酵素、代謝、化学平衡)」「分子生物学(ゲノム、セントラルドグマ、変異、分子進化、発現制御、遺伝子工学)」</p> <p>② 面接 13:00~ これまでの研究内容及び今後の研究計画について、説明及び質疑応答を行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(筆記試験)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>① 専門基礎 10:00~11:30 (90分) 《出題範囲》 「有機化学」「生化学」「分子生物学」から以下のキーワードに関する基礎的かつ総合的な問題を出題する。 (キーワード) 「有機化学(命名、官能基、異性体、酸・塩基、求核・求電子反応、脱離反応、酸化還元)」「生化学(細胞、生体分子の構造と機能、酵素、補酵素、代謝、化学平衡)」「分子生物学(ゲノム、セントラルドグマ、変異、分子進化、発現制御、遺伝子工学)」</p> <p>② 面接 13:00~ これまでの研究内容及び今後の研究計画について、説明及び質疑応答を行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><8月19日(火)></p> <p>面接(口述試験を含む。) 13:00~ 主に提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専攻分野に関連した質問を行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>

* 一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「筆記試験、面接及び事前提出のTOEIC/TOEFLスコア」を免除する。

【冬入試】

区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
選抜方法	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)> 面接 9:00~ ・提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。 ・1人30分程度行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><12月1日(月)> 面接 9:00~ ・提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。 ・1人30分程度行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>	<p>学力検査(事前提出の小論文)及び面接(口述試験を含む。)の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。</p> <p><1月26日(月)></p> <p>面接(口述試験を含む。) 13:15~ 主に提出された小論文、成績証明書等に基づいて行う。また、専攻分野に関連した質問を行う。</p> <p>※ 外国語(英語)は、TOEIC/TOEFLスコアをもとに換算した得点を外国語の得点とする。</p>

* TOEIC/TOEFLについて(夏入試・冬入試共通)

本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R(公開テスト)又はTOEFL(iBT)の成績を証明する書類等を、下記のいずれかの方法で提出すること。

【TOEIC L&R(公開テスト)の場合】

- ・TOEIC申込サイトからスコアを提出する。(申請コード00040702)
- ・「Official Score Certificate(公式認定証)」の原本を提出する。
- ・印刷したデジタル式認定証を提出する。

【TOEFL(iBT)の場合】

- ・「Test Taker Score Report(スコアレポート)」の原本を提出する。
- なお、TOEIC L&R(公開テスト)及びTOEFL(iBT)は実施日及び実施会場が限られているため、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。